



ROTARY CLUB OF MITO

THE JOYO BANK, LTD.

2-5-5 MINAMI-MACHI MITO IBARAKI 310-0021 JAPAN

029 (225) 4820 FAX: 029 (225) 4825



雑誌委員会

委員長 岡崎恵一郎

雑誌委員会 月報 (2016年3月)

ロータリーの友 2016年3月号より注目記事をピックアップしました。詳細はロータリーの友3月号をご覧ください。

横組み P.10 【祝】水戸 RC の記事が掲載されました！

『メコンデルタに架かる友好の橋』

水戸ロータリークラブが米山学友のアンさんと取り組んできた協働事業がロータリーの友の記事になりました。

「子どもたち、若い人たちが夢を持てる未来のために2」と云う特集記事の一つです。アンさんの「母国と日本との架け橋になりたい」という思いも紹介されています。

雑誌委員会の取材によると、今回の記事は成田会員が書いたとのこと。また、田中幹事の発案により、支援事業から帰国後早々に投稿したことも掲載につながった要因ではと思われます。

国際奉仕委員会 成田委員長 (2013-14年度)、片岡委員長 (2014-15年度)、そして現 衣笠委員長 (2015-16年度)、他、関係各位の皆様、おめでとうございます！



横組み P.3 【RI 会長メッセージ】

『身をもって示す』

身をもって示す方が、言葉で伝える教訓よりもはるかに伝わる。私たちの、考え、発言、行動、そしてどのように行うかによって、人々を導いていかなくてはなりません。私たちの地域社会、私たちの子供たちは、まさにそうするだけの価値があるのです。

横組み P.15

『神からの偉大な贈り物 ロータリーの友情から生まれた奇跡』

「たまたま」が物語のはじまり。東日本大震災の後、オーストリア全国のロータリークラブが日本の被災地、特に放射能汚染にさらされている子どもたちをオーストリアで預かりたい。ここからはじまったストーリーです。



横組み P.39 【ガバナーのページ】

倉沢修市ガバナー『初心に帰り新たな一歩を』

ガバナーのページに第2820地区倉沢修市ガバナーの記事が掲載されています。ガバナーとしての思い、そして第2820地区の運営に関し、4つのご意見が記載されています。ぜひご一読ください。

横組み P.22

『RI 会長エレクト ジョン F. ジャーム氏に聞く』

7月1日にRI会長に就任するジョン F. ジャーム氏はロータリーに入会してちょうど40年。この間で一番知られているジャーム氏の業績は、おそらく「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」の指揮に当たったこと。

次期RI会長のお人柄を、インタビューを通し知ることができます。

2016年3月1日